

# 成果報告書

## 地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

|      |  |     |       |
|------|--|-----|-------|
| 団体名  | 特定非営利活動法人 日本地域部活動文化部推進本部   |     |       |
| 所在地  | 静岡県掛川市   | 設立年 | 2021年 |
| 運営主体 | 特定非営利活動法人 日本地域部活動文化部推進本部   |     |       |
| 事業目標 | <p>●目標1 …企画提案書「課題1」に対し、地域部活・掛川未来創造部Paletteでの4年間の活動の成果をベースに、新たに創部する中学生の地域部活動も含め、発展的な活動プログラムの展開を目指す。<br/>[具体的な成果目標] → 在り方を示す企画および体制を明確に可視化し、全国に向けたプレゼンや検証のための発信事業の中で研究成果として編纂し、発表を行う。</p> <p>●目標2 …企画提案書「課題2」に対し、人材の確保とオンライン・オンデマンドでの配信コンテンツの企画開発制作を継続的に行い、NPO本部(当法人)が配信支援を実践する。<br/>[具体的な成果目標] → 各拠点に直接人材の確保 … 現場の見守りスタッフ(シルバー人材派遣の活用など)<br/>・オンライン人材 … プロデューサー、アドバイザーなど各種担当スタッフの人選および体制確立<br/>・教材 … オンラインおよびオンデマンド配信用の教材の企画・開発・制作(部活動の在り方、行動指針、未来の社会像、自分も活かし他者も活かす視点など実践で活用し検証を行う)</p> <p>●目標3 …企画提案書「課題3」に対し、全国展開している一定規模以上の企業複数社による協賛を交渉・獲得する。<br/>[具体的な成果目標]<br/>・全国 → NPO本部を支える大きな基盤構築を目指す(大企業・複数社、令和5年度からの契約)</p> <p>●目標4 …企画提案書「課題4」に対し、現・部員が所属する中学校に地域学習の調査・把握を進める。<br/>[具体的な成果目標] → 部活動内で行う地域と連携した企画において、学校での学びとのつながりを意識できるようにサポートを行う。</p> |     |       |
| きっかけ | 2018年創部、民間NPO主催の文化系・地域部活動の実践をベースに、全国における地域移行を、地域側から新設していく展開の支援を目指すNPO法人を発足したことから本事業に応募   |     |       |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p><b>団体・組織等の連携</b></p> | <p>◇ネット情報番組(2022年7月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国の市町の教育委員会(焼津市教育委員会、奈良県・生駒市教育委員会)</li> <li>・市町の地域移行の受託先(掛川市文化財団)</li> <li>・民間の地域部活動主催団体(NPO法人 文化部活動の地域移行支援ネットワーク: 埼玉県、一般社団法人しずおかBukatsuDoクラスしず部、藤枝地域部活動Yattara ) など</li> <li>・民間の協賛団体(島田掛川信用金庫)</li> <li>・民間のプロボノ支援団体(維新エンターテインメント)</li> </ul> <p>◇地域芸術祭×地域部活動の協働プロジェクトの展開<br/>(地域と共に発展する持続可能な在り方の追求の実践検証)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掛川市文化スポーツ振興課(かけがわ茶エンターレ実行委員会)</li> </ul> <p>◇Pocca直轄部活動(掛川未来創造部Palette)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・掛川市教育委員会</li> <li>・部員が通う中学校(市内7つの中学校)<br/>(年1回、中学1・2年は年度終わりに個人毎に指導要録記載の参考資料を送付)<br/>(中学3年は、学校指定のフォーマットに準じて個人毎に調査書参考資料を送付)</li> </ul> <p>◇中山間地の部活動の現状調査、オンライン意見交換会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県東臼杵郡椎葉村在住 元・まちおこし協力隊員<br/>(意見交換会: 村民主導、合同会社ミスマス主催)</li> </ul> |
| <p><b>活動場所</b></p>      | <p>◇ネット情報番組の企画・制作・配信<br/>⇒ NPO法人 事務所 Pocca本部 1Fスタジオ(静岡県掛川市家代)</p> <p>◇Pocca直轄部活動(Palette)<br/>⇒ 掛川市美感ホール(～2022年12月)、掛川市生涯学習センター(2023年～)</p>   |
| <p><b>活動概要</b></p>      | <p>◇部活動の地域移行に関する情報発信<br/>⇒ ネット情報番組「ChCoCo」開局(国民的なコンセンサスを得るための情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域部活動および地域クラブのオンライン意見交換会の実施</li> <li>・教育課程内の探究学習との親和性に基づく講演や事例発表の配信 など</li> </ul> <p>◇少人数、低額な会場(省スペース)で持続可能な部活動の実践と検証<br/>⇒ 直轄部活動(Palette)の会場変更、活動ジャンルを声の表現・アート・ITなどに限定<br/>(生徒、保護者に各々説明、活動のダウンサイジングとモチベーションの相関を検証)</p> <p>◇地域と共に発展する持続可能な部活動の在り方の探究<br/>⇒ 地域芸術祭×地域部活動の協働プロジェクトの始動(直轄部活動Paletteメンバー有志の参加)</p> <p>◇中山間地の部活動に関する保護者等の声の調査・オンライン意見交換会<br/>保護者や地域住民の視点より、3月中旬に村民主体・合同会社ミスマス主催の意見交換会「子どもたちの『やりたい』を育む部活動とは?」にPocca理事長がオンライン参加</p>  |

## ○本事業による成果

### ◇部活動の地域移行に関する情報発信

⇒ ネット情報番組「ChCoCo」開局

目的: 国民的なコンセンサスを得るための情報提供

- ・地域部活動および地域クラブのオンライン意見交換会の実施
- ・教育課程内の探究学習との親和性に基づく講演や事例発表の配信 など

#### [定量的観点]

▽配信回数(コンテンツ数)

- ・Ch.CoCo試験放送 5回 配信20本
- ・Ch.CoCo本放送 4回(うち2回は3月下旬に編集版をアップ) 配信5本

▽参加者数

- ・本部スタッフ数: 総合プロデューサー1名、放送スタッフ 5名
- ・放送の出演人数: 2022年-20名、2023年-20名

▽再生回数(YouTubeチャンネル)

- ・総計 2878回 (3/10時点)

※3月下旬に特番を2本、編集版をアップロード配信予定。

⇒ChCoCo YouTubeチャンネルURL: [https://www.youtube.com/channel/UCL1Q9f36k-mHvyMcenDV\\_7A](https://www.youtube.com/channel/UCL1Q9f36k-mHvyMcenDV_7A)

#### [定性的観点]

部活動の地域移行には様々なケースがある中、ChCoCoではレギュラーコーナーとして、

- ・地域部活(クラブ)レポ
  - ・NEW TRY(これまでに無い新たな取組の紹介)
  - ・ブカツのこと、聞いてください!(各方面の専門家へのインタビュー)
- を中心に配信。レギュラー放送は1回約30分、特番は1時間~2時間で放送。  
長時間にわたる視聴は難しい時のために、単体コンテンツも小分けにして配信。

※教育課程内の学び(地域と連携した探究学習)を地域部活動の親和性をもとに企画した、1/26「地域部活プレゼン&パフォーマンス2022+1」を配信。先進事例の高校教諭の講演と事例発表を配信。

<https://youtu.be/mq38zAtmx5Q>

### ◇NPO本部⇄部活動拠点の接続

#### [定量的観点]

▽オンライン接続

- ・5~6月、8~12月
  - ・Pocca本部と直轄部活動拠点をZOOM接続を実施。
  - ・本部スタッフ 2名、拠点セッティングスタッフ 1名
- ▽オンラインワークショップ(Poccaが外部講師を招聘)
- ・2022年度 5回実施(声優1回、謎解き2回、シティズンシップ2回)
- ※そのほか、テレブカツ中にChCoCo放送の視聴を数回実施。

#### [定性的観点]

Pocca本部と活動拠点を結んだ活動は、2022年度でほぼ定着。

オンラインワークショップの回数は少ないものの、ChCoCoの放送やコンテンツ視聴を度々活動の中で実施。

拠点は講師招聘費用がかからず、本部との接続で参加可能な形を実施できている。

- ◇少人数、低額な会場(省スペース)で持続可能な部活動の実践と検証  
⇒直轄部活動(Palette)の会場変更、活動ジャンルを声の表現・アート・ITなどに限定  
(生徒、保護者に各々説明、活動のダウンサイジングとモチベーションの相関を検証)

[定量的観点]

- ▽直轄部活動(Palette)の実施回数  
・5月～3月 79回実施 うちテレブカツ(オンライン部活)は23回
- ▽固定費用を2段階で削減  
・8月～ テレブカツと併用式
- ・1月～ 一回7000円の会場(美感ホール)を、一回4000円弱の会場(生涯学習センター)に変更

[定性的観点]

部活動を自分たちで創る!の観点より、8月以降、練習回数およびテレブカツの日の調整等を部員の合議で決定。

- ・収入:部費1500円×部員数 に対し、
- ・費用:会場費と見守りスタッフ人件費、WIFI月額契約料 の合計で  
バランスが取れる実施回数を合議で決定

持続可能な部活動の展開をベースに、更なるダウンサイジングをはかると同時に、活動ジャンルによって上下はあるものの、全体としてはモチベーションについては概ね維持されている。

◇地域と共に発展する持続可能な部活動の在り方の探究

- ⇒地域芸術祭×地域部活動の協働プロジェクトの始動(直轄部活動Paletteメンバー有志の参加)

Pocca所在の地域・掛川市が3年に1度開催する地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ2024」に向けた学生主体の企画制作チーム「未来創造プロジェクト」が2023年度からメンバー募集を開始して始動。

Poccaは、子どもたちが自主的・主体的に地域におけるアートプロジェクトに参加する機会の創出を目指すことから、当プロジェクトと連携した動きを行う。

[定量的観点]

- ・対象:市内小学校高学年、中学生、高校生、大学生  
(地域部活の部員に限定しないNPO活動)
- ・参加人数:直轄部活動(Palette)メンバーから有志6名が参加希望。

[定性的観点]

Paletteの部活動内で各種プロジェクトに参加しているメンバーが中心に参加を希望。

部活動は地域の中で育まれる環境の中のきっかけの一つであることから、望ましい方向にあると考える。

※掛川での2024年までの協働事業の進捗を、ネット情報番組「ChCoCo」で追跡取材を行う。

※今後、他地域においてもアートプロジェクトと共に新たに地域部活動の新設を提案、支援を行う。

◇中山間地の部活動の地域移行に関する調査・オンライン意見交換会

- (保護者および地域住民の視点より)

[定量的観点]

- ・調査対象地域 1か所  
(宮崎県内の中山間地の村)
- 調査:当地在住の元・町おこし協力隊員
- ※保護者を対象に3月下旬にオンライン意見交換会を実施

[定性的観点]

- ・状況をヒヤリングの時点より、中山間地ならではの部活動維持が困難な状況を把握。
- ・合同部への移行そのものも困難なこともあり、県の方針も含め、推移を継続して見守る。
- ・既存の部活動の移行は困難であっても、地域に新たな受け皿創出が将来的に考えられる。

#### ◇Pocca事業の検証

- ・地域部活カンファレンス&インスペクション実施  
(2/23 Pocca事業の検証会議&通常部活動の見学会)
- ・大学生の卒論研究でPocca事業の調査およびインタビュー

#### [定量的観点]

- ・2/23に検証会議を実施。識者4名出席、事業報告に対して講評を受ける。  
(3/26に編集版をChCoCoからアップロード配信)
- ・大学生の卒論研究でのPocca事業の調査:2名が掛川に来訪

#### [定性的観点]

自主性、主体性を重視した地域部活動の展開について評価を受ける。  
大学生からは生涯学習の観点からも地域人材に関わる部活動の展開について研究報告を受ける。

#### 【教員の負担軽減】

◇本事業が直接的に既存の学校部活動の顧問教員の負担軽減につながることはないが、子どもたちのニーズに沿って、現在学校にないジャンルの活動を実現し、地域クラブが増え、地域に所属する部員が増加することで、学校部活動が中長期的視点で合同部や拠点校方式への移行促進につながる。

#### ◇学校部活動との関連性について

学校部活動が長時間活動でなく、活動日が少なければ兼部も可能（Paletteでは兼部メンバーは2名）

### ○児童・生徒への指導に関する工夫

#### ◇技術の向上を目指す生徒への対応(プログラミング)

2022年度、掛川市で創設した掛川デジタルクラブを、Palette所属のITメンバーを紹介したところ、4名が参加を希望して移籍した。子どもたち自身のニーズにより合致する地域クラブが創設される場合は、随時、広報や紹介を来ない、1つの部活動が肥大化することが無いように対応する。

#### ◇生徒自身の満足度

昨年が続いて、「自分がやりたいことができる」「自由」「楽しい」という感想を大多数の部員が語るほど、満足度が高い。

#### ◇技術指導

技術指導は基本行っていない。すべて独学で調べて学んだり、お互いに教え合ったりが基本。

#### ◇企画プロデュースのポイント

企画したり、制作したり、という観点の考え方や手法について、アドバイザー(オンライン講師)やプロデューサーがアドバイスをを行っている。

#### ◇関係するスタッフへの研修等

2022年度、掛川市教育委員会が実施する公認地域クラブの指導者研修を、Palette専属の見守りスタッフが受講。公認地域クラブ指導員として認証を受ける。

## ○運営上の工夫

### ◇生徒の自主性を最大限に尊重

現場で関わる大人スタッフは、離れたところで安全面を見守るのみとする。(専門的な技術指導は一切行わない) → 大人がアドバイスをしたり、会話をしたりすることが多くなると、高い確率で生徒は大人の指示待ちの姿勢になることが実証済。自分から考え、周りと協調して行動するためには、大人は基本活動に介入しないことが重要。

◇活動時間：平日に週2回、一日2時間に限定。土日は年2回程度のみ実施。

### ◇保護者との連絡

保護者宛てのメールアドレス宛てに適宜「保護者の皆様」宛ての連絡メールを送信  
重要な伝達事項は、通知文書をプリントアウトして配布もしくは郵送

### ◇プロデューサーの養成

Poccaの地域部活動運営には、プロデューサーの存在が必須。(企画制作を導き、学びの質と地域資源との関わりをもち、活動そのものの地域での価値を高める。そして、運営に必要な人材と資金を調達する。

→次年度以降、現プロデューサーの後継となる、プロデューサー養成が必要。

### ◇民間企業とのタイアップ等

- ・謎解き考案や監修等のプロボノ支援(維新エンターテインメント)のタイアップが決定。次年度から本格化。
- ・協賛候補の大企業1社、次年度以降、本格交渉を進める。

### ◇用具、運搬、保管

- ・必要な機材は活動拠点の中のスペース(ロッカー)を借用して保管

### ◇活動支援・事業運営のためにICT活用

- ・ICTは、チャットツール(Slack)やGoogle Workspace等を活用
- ・関係者全員にとって無理のない仕組みの構築

またまだ十分で安定的な資金獲得が難しい状況であることから、一部本部スタッフの業務に負荷がかかっている状況、次年度以降、Pocca本部を支える大型資金基盤を造成し、事務局専属スタッフ体制の整備が必要。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

### ◇組織との連携

地域芸術祭との協働において、地元自治体(文化スポーツ振興課)とは十分に連携がとれている。  
次年度は、NPO活動支援センターの仲介支援を受けながら、大手企業に今後協賛交渉を進める。

### ◇人材確保

派遣の人材センターに発注し、適任の人材が常に見守りスタッフが常駐が実現。

### ◇会費(部費)徴収に関して保護者の理解

創部から4年間は無料。5年目が月1000円。2022年度から1500円に増額。2023年度に2000円まで段階的に増額することを保護者に通知。その都度、説明会をひらき、了承を得る形で進行。

### ◇補助金

2017~2020年=静岡県文化プログラム、2021年=アーツカウンシルしずおかより助成(支援)  
今後、地域単位(静岡県や掛川市)の公共の助成金は申請しない方針。

### ◇保険(公益財団法人スポーツ安全協会等)への加入

保険への加入は必須。必ず年度始めに加入・徴収。送迎移動中の事故や個人活動も補償にはいるAW区分に加入

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

- ◇ネット情報番組「ChCoCo」、ChCoCoのSNSの情報発信を強化。  
⇒全国的な地域移行へのコンセンサスをはかることを更に強力に発信。
- ⇒段階的な地域移行の動向を配信、情報共有
- ◇地域と共に発展する持続可能な地域部活の在り方の事例発信  
⇒地域芸術祭×地域部活動の協働、本格始動。
- ⇒他地域の地域おこし、街づくりや街おこしとの協働を提案・支援
- ◇直轄部活動のダウンサイジングと小規模スペースでも可能な活動形態の試験・実践・検証
- ◇中山間地の部活動の地域移行の調査(継続)
- ◇運動部に所属している生徒も参加可能な企画(考案)系の文化活動の試験・実践・検証  
⇒複数のジャンルを体験できる新たな価値の創造

○令和4年度 取組状況等

|         |        |  |
|---------|--------|--|
| 参加者     | 人数等    | ◇ChCoCo関係：年間50～100名<br>◇直轄部活動(Palette)関係：50名   |
|         | 学校名    | ◇Ch.CoCo関係：<br>・地域部活 掛川未来創造部Palette所属の中学生 約20名<br>・藤枝地域部活動Yattaraの中学生5名<br>・浜松学芸高等学校 高校3年生 5名<br>・地域部活 掛川未来創造部Palette卒部の高校生2名<br><br>◇直轄部活動(Palette)：<br>・参加部員 掛川市内の中学校(東中、西中、北中、桜が丘中、栄川中、大浜中、大須賀中)から43名が参加 ※2023年3月現在 |
|         | 募集方法   | ◇ChCoCo関係：<br>メール、SNS等で出演・参加を打診<br><br>◇直轄部活動(Palette)：<br>市教委の全保護者への案内、独自にチラシ・ポスター等で広報  |
| 指導者     | 人数等    | ◇直轄部活動(Palette)：<br>オンラインワークショップでのワークショップ 3名   |
|         | 募集方法   | 当NPO法人より直接講師に依頼(オンラインにて招聘)   |
| 参加者の移手段 |        | 保護者による送迎支援   |
| 活動費用    | 指導者謝金等 | 謝金：オンラインワークショップ謝金 5100円/1時間  |
|         | その他    | 見守りスタッフ(人材派遣) 1000円/1時間<br>会場費用 3300～3800円 1回/2時間 ※2023年1月～<br>WIFI月額使用料 5500円/1ヶ月   |
| 活動財源    | 会費     | ◇直轄部活動(Palette)<br>部費 1500円×部員数 ※2023年度より月2000円<br>不足分は、当NPO自己負担   |
|         | その他    | 地域と共に発展する持続可能な部活動の在り方を追求する観点より、特に日頃の活動の成果を発揮できる機会として、地域芸術祭のプロジェクトに積極的に参加。機会の創出や広報など、多方面にわたり自治体、文化振興担当部局と協働、支援を受ける。<br>→これらの機会を自費での実施は非常に困難   |

|        |      |   |
|--------|------|---|
| スケジュール | 基本活動 | <p>◇直轄部活動(Palette)<br/> 平日 火曜・木曜 18時～20時<br/> ・直接集合式 or テレブカツ(リモート部活動)のいずれか<br/> (月平均: 直接集合5回、リモート2～3回)</p> <p>週末: 2～3回のみ(年間)</p>   |
|        | 年間   | <p>◇直轄部活動(Palette):<br/> 4月 1年生 体験入部<br/> 5月 1年生 本入部<br/> 6月 部内イベント「アイオライト」出演・制作・鑑賞<br/> 7月 ポテンシャル オブ 地域部活@あすなろ(Pocca主催)参加<br/> 11月 地域芸術祭「かけがわ茶エンナーレ2024」関連行事に有志参加<br/> 12月 部内イベント「STEP UP」出演・制作・鑑賞<br/> 1月 地域部活プレゼン&amp;パフォーマンス2022+1 代表メンバーが出演<br/> 2月 地域部活カンファレンス&amp;インスペクション2023に参加(現地視察会)<br/> 3月 ポテンシャルオブ地域部活@あすなろ 出演・制作・企画等で有志参加<br/> 3月 年度最後に部内イベント「謝恩会」出演・制作・鑑賞</p> |
| 保険加入等  |      | <p>スポーツ安全保険加入<br/> ※個人活動(自宅でのリモート部活動も含む)も対応の保険に加入</p>   |



## 【活動の様子（写真添付）】

◇ChCoCo配信 スタジオ風景(Pocca本部 1Fスタジオ)



写真：出演 北山敦康先生（文化庁「文化部活動の地域移行に関する検討会議」座長）

出演 藤枝地域部活動Yattaraのメンバー

◇直轄部活動（Palette有志メンバー） 3/4ポテンシャルオブ地域部活 共演ゲストと記念撮影

